



超私の奉仕

本 庄

ロータリークラブ会報

NO 43-14 第2073回 例会 10月13日 2005年10月20日 発行
2005～2006年度国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 第2570地区ガバナー 野中弘之
会長/野村正行 会長エレクト/渋谷修身 副会長/武井包光 副会長/中村 孝 幹事/温井一英

本日の例会

職業奉仕月間・米山月間

卓 話

米山奨学生 何 子涌(カ・シヨ)様
地区米山奨学学友委員 木村葉子 様

進 行 SAA 斉藤清一 チーフ
点 鐘 午後 12 時 30 分 野村正行 会長
ソング 「我等の生業」「四つのテスト」
お客様 米山奨学生 何 子涌(カ・シヨ)様
地区米山奨学学友委員 木村葉子 様

一言、米山奨学事業豆辞典によると「ロータリー米山記念奨学会とは」について三つの事柄が記されています。一つは 10 万人のロータリアンによる国際奉仕活動として、世界 104 ヶ国より 12,706 人に及ぶ外国人留学生を支援していること、二つは、ロータリアンと米山奨学生の交流として、日本の文化、伝統、慣習などを学び社会参加と社会貢献の意識を育てていること、三つは世界平和を願ってとして、米山梅吉氏の功績を記念して「米山基金」はもちろんであるが、この事業構想は平和日本を世界に伝える願いが込められていること、これがやがて留学生支援に全国のロータリークラブの共同事業に発展したことの内容が記されています。

どうか奉仕活動としてロータリアンの皆様、支援協力をいたしましょう。

幹事報告 温井一英 幹事

会長の時間 野村正行 会長



皆様今日は。

今日の例会は米山月間行事として、米山奨学会委員会の計らいで地区に卓話を依頼し、地区役員の木村葉子様と米山奨学生の何 子涌さんに卓話等をして頂くことが出来ました。ご両人のご紹介と合わせてお礼申し上げる次第です。



- ・ 青少年交換派遣生の推薦依頼が来ております
- ・ 学友会ニュースが届いています。
- ・ 本庄市ボランティアセンターより「ぼらんていあにゆうす」が届いています
- ・ 共同募金の赤い羽根がまだ残っておりますので、お持ち帰りください。
- ・ オープンハートフェスティバルが 11 月 19 日シルクドームにおいて開催されます。2 代目高橋竹山氏三味線コンサートです。チケットが 20 枚ありますので、必要な方はお申し出ください。

- ・ 幹事という役を仰せつかって大変申し訳ありませんが、来週の例会は仕事の都合で欠席させていただきます。

田中 克 ロータリー家族委員長



委員会報告

笠原 勝 職業奉仕委員長



10月27日の移動例会兼家族親睦旅行に大勢の参加申し込みを頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

尚、スケジュール表は来週参加者の方に配布させていただきます。内容のある旅行を心がけておりますので、是非ご期待をして頂きたいと思います。

来週は美里町フレックス(株)の企業訪問です。現在28名の参加を頂いており欠席19名、29名の方は連絡を頂いておりません。

交通は各自、車にて乗り合わせてお願いいたします。例会は1時迄で、1時15分頃から見学になりますので、宜しくお願いいたします。

コニコボックス 渋澤健司 委員長
(敬省略)



三宅健吉 社会奉仕委員長



今月は米山月間です。深谷 RC の地区役員木村葉子様ご苦労様です。米山奨学生の何子涌さんようこそいらっしゃいました。歓迎します。

(同文にてご投入頂きました)

野村正行	戸谷 丈	田中 克	橋本恒男
矢島淳一	渋澤健司	西村賢次	斉藤清一
立石秀寿	今泉憲治	岩堀 薫	渋谷修身
町田国彦	岩渕富男	萩原達夫	内野昭八郎
春山茂之	岡芹正美	茂木 聡	中村 孝
中島高夫	武井包光	岡崎正六	三宅健吉
佐藤賀則	古瀬末雄	杉山淑子	五十嵐敦子
小此木利明			

木村葉子深谷 RC 地区役員

今日は不慣れな卓話でお世話になります。宜しくお願いします。

温井一英

仕事の都合で来週はどうしても出られません。宜しくお願いいたします。

今年度も本庄商業祭楽市への参加を予定いたしております。期日は11月27日(日)です。

例年に習いまして、皆様から1人3点以上の品物を出して頂きたいと思いますので、宜しくお願いいたします。品物の集荷は11月1日より2週間位と考えており、集荷場所は決定次第皆様にご連絡いたしますので、ご協力宜しくお願いいたします。

山田龍男

スナック(MIHARU)ミハルー周年記念ご来店
心よりお待ち申しあげます。期日 11/1～11/3

笠原 勝

来週の 20 日(木)は美里町のフレックス(株)に企
業訪問を行います。よろしくお願いいたします。

岩本英人

昨夜は月見酒、5 人で楽しく飲みました。

藤井 仁

加藤さんうなぎ供養を有難うございます。皆様
喜んでいます。

関口雅之

ご無沙汰しました。

飯塚明男

インフルエンザワクチンを 10 月下旬～11 月上
旬になるべく接種しましょう。

江原栄一

今、志賀高原の紅葉が見頃です。

塚越 茂

地震支援の輪をイスラマバードの市民に。

下山正男

早退しますので、よろしくお願いいたします。

本日ニコニコ合計 44、000円

出席報告 茂木 聡 委員長

(敬省略)



会 員 数	出 席 免 除 会 員 数	出 席 義 務 会 員 数	出 席 会 員 数	出 席 率
77 名	7 名	70 名	48 名	71,4%

メーキャップ数2枚

欠席届出者

石原輝弥 坂本雄一 関根 貢 高柳育行
沼田恵義 野口光大 福島文江 八木茂幸
金井直樹

後藤芳生 地域社会奉仕委員長



11 月 27 日(日)楽市が開催され、本庄ロータリ
ークラブも参加しますので、1 人 3 点以上の奉仕
をお願いします。

集荷場所は市民プラザ前「三宅不動産」賃貸の
店舗です。11 月 1 日～14 日の間(9:00～17:00)
鍵を開けておきます。名簿を用意しておきますの
で、搬入日時を記入してください。
皆様のご協力を宜しく願いいたします。

矢島淳一 プログラム委員長



本日の例会企画をご案内申しあげます。
米山月間と言うことで、本日は木村葉子様、何
子 涌様に卓話をお願いいたします。

この企画におきましたは、米山奨学委員会の担
当ですので、立石米山奨学委員長からご紹介をお
願いいたします。



10月は米山月間です。本日卓話を頂くのは、地区から深谷 RC 所属木村電子会長の木村葉子さんと米山奨学生の何子涌さんです。

何子涌さんは来日8年で、最初の2年は日本語学校で勉強され、川越市の尚美学園大学4年を経て、今、修士課程の2年生です。中国、海南島の出身で28歳独身です。ホストクラブは寄居ロータリークラブです。又、米山奨学金特別寄付を皆様様にお願いいたします。

卓話

「留学の経緯と将来の目標」

米山奨学生 何子涌 (カ・シヨ) 様



1998年5月1日、中国の沿海経済特別行政区リゾート都市、海南島と言う島から私が日本にやって来て、東京ビジネス専門学校日本語科に入学しました。

2003年3月に尚美学園大学総合政策学部合格して、四年に亘って色んな先生の有益なご指導を頂き、幅広い分野でいろいろな新知識を勉強し、吸収しました。そして、2004年3月に無事大学課程を修了しましたが、引き続き同高の修士課程に合格し、今は必修科目と卒業研究論文のために、忙しい毎日を送っております。

私には一つの夢があります。それは卒業後母国に帰って、日中間に橋渡しになるような仕事に就いて行きたいと言うことです。偉そうに聞こえるかも知れませんが、本当にそう思っています。

日本に留学したいと考え始めたのは、高校に入った後のことでした。十数年ほど前、中国の改革開放政策に伴って、日本の電気製品は大量に流入し、その時から日本の技術の先進さを認識しました。映画の中、林立の高層ビル、ハイスピードで走っている新幹線、ロボットだけがある自動車生産ラインなどの場面は忘れられない1ページになりました。それによって、ある疑問が段々と頭の中に浮かんできました。中国と日本は同じアジアに属し、距離的にも近いし、文化的な面から見てもよく似ているところが多く、なぜ日本は先進国に入って、中国はまだ発展途上国に過ぎないかという事です。どうしてこのような格差があるのでしょうか。

来日以前には、日本社会の近代化や、日本製品、流行、洗練されたスマートさといった比較的表面的というか外観的な皮相な面での素朴な憧れはあったのですが、なぜか、日本人に対してはやや警戒するような怖さを感じていました。

このような当時個人的な見方から、私が日本に対して抱いたイメージは、教科書で習った戦争の歴史だけでなく、どんな厳しい環境の中でも、優しさを忘れずに力強く生き抜く民族性そのものでした。そのイメージはいつしか「日本という国を自分の目で見たい」「自分の肌で感じたい」という思いに変わりました。

来日して、初めのうちこそ日本人の行動様式に戸惑いましたが、日本人が外国人の事を意識しているわりには、特に老人などは、差別意識が比較的少ない社会だと感じています。内と外では扱いが違うという問題があるとしても、その内と外の扱いは特に外国人にだけなされるものではないと分かった。

1945年、第2次世界大戦の後、日本は敗戦国になりましたが、30年余りの間に、日本は世界の各国の中でも、重要な地位を占めるようになりました。歴史を振り返って見ると、千年前に日本は中国のあらゆる面を学ぼうとして、遣隋使、遣唐使を派遣して、中国からいろいろなものを受け取りました。しかし、千年後の今、現実を見て私達は日本を勉強すべきではないでしょうか。

そのために日本に留学する事に決心しました。そして、尚美学園大学に入った後、論文指導教授、元日本駐新西蘭大使井口武夫先生の下で、高度な知識と研究方法を学び、更に私の卒業論文「地球環境問題」についても色んな指導とアドバイスを頂きました。(つまり科学文明の発達と共に人間は自然に対しても、今まで考えられなかった影響を及ぼしています。大気や河川の汚染による影響は温室化現象や酸性雨、開発と自然保護の問題など)

今、中国も素晴らしい発展をしておりますが、中国に進出する日本企業も多くなっており、貿易技術など各領域で合作を行っております。どんな合作でも中国の背景をよく知り、その上、日本の状況も熟知している人材は不可欠であります。

この点では、日本に留学経験のある私達は中日両国交流に役立てると思います。21世紀初頭は中

国の高速発展において重要な時期だと思っており、私達留学生は中国の進歩と発展に責任を負うべきである。

今までにたくさんの日本の留学された方達が中国に戻り、国家の建設に大きな貢献を捧げています。中国の発展はまだ遅れているが(内陸地方など)そのため、大量の人材を必要としています。将来国に帰って、中日間友好な架け橋となる仕事に就きたいと思います。

昨年 10 月に、大学院の国際交流センターから推薦で米山奨学金に応募する資格を頂き、幸運にも米山奨学生に選ばれたのは今年大学院 2 年生に入った時とほぼ同時でした。大学院 2 年生の忙しさが前もって覚悟したが、つまり難しい卒業論文と沢山必修単位を修得しなければなりません。そして、何より大きいのは米山奨学金を頂き、経済的、精神的にも支えて頂きました。

例会出席時に、いつも色んな偉い方から、「頑張ってください」と言う声を掛けられ、凄く感謝しており、本当に勇気づけられました。何より、留学期間が長く、日本での生活にもほぼ慣れていた私でしたが、ロータリアンの方々との出会いによって、人と人の触れ合いや思いやりの大切さについても改めて考えさせられました。つまり、自分を磨くための良き師、良き友、良き環境に尚美学園大学と米山奨学機関で巡り合い、この幸運を大切に、これからより良い斬新な「私」を作り出すように、全力で頑張っていきたいと思っています。

大学院在学中、将来は自分の専門や研究を活かして、生まれ故郷の中国海南島と、成長させてくれた第 2 の故郷である日本に同時に貢献出来ることを望んでいます。経済発展と共に生活にも潤いを求めるようになった中国は、やはり今最も大きな市場であると感じます。これからは、日本のノウハウと消費者に対する細やかなケア、中国の広々とした市場と人々の向上心をお互いにいい形で補足し合い、双方に利益をもたらすような仕事を今後の私の課題であり、目標でもあります。

そして何より、米山奨学生であった誇りを心に刻み、皆様のご厚意に応じられるような生き方をしたいと思っています。

(2005 年 9 月 10～11 日に静岡研修旅行によって米山梅吉氏の出身地に行きました。今回の研修旅行によって僕がロータリークラブはつまり実業家や知識人による、社会福祉、国際親善を目的とした国際奉仕社交団体であることを深く実感しました。米山記念館で色々見学しましたが、そして米山梅吉氏のお墓参りに連れて行って貰い、墓前で「米山先生のようになります」つまり「他人への思いやりと助け合い」の精神を身をもって頑張りたいと自然と誓っていました。本当に楽しくて有意義な 2 日間研修旅行でした。)

地区米山学友委員 木村葉子 様



日頃、米山事業にご理解ご協力を頂き、誠に有難うございます。

今日は又、高橋パストガバナーを始め RC 諸先輩が大勢いらっしゃる貴クラブでの卓話という事で、大汗ものでございます。失言、失礼がございましてどうぞお許しを頂きたいと思います。何しろ他所のクラブでの卓話は初めての事でございます上に、米山という事で端的に申せば寄付の話と皆様ご承知でございますから。まあ、兎も角めげずにやってこいと地区委員長の命令です。申し訳ございませんがお聞きください。

米山事業豆辞典はお手元に届きましたでしょうか？これをお読み頂ければ全てマスターで、下手な私の話などはいらない訳ですが、お手元にあるという事と、お読み頂けたという事は別の事と思いますので、触りだけお話いたします。

寄付総額は 1996 年 20 億円をピークに下降し、不足分を特別積立金より取り崩しをしていましたが、2005 年より財政の健全化を図るため取り崩しを止めました。2004 年寄付額は 14 億円余り、奨学生は 799 人で、2570 地区寄付額は 3100 万円余り、奨学生は 20 人です。

この奨学会は国内共同事業として過去、世界 104 ケ国 12,706 人を支援、国内最大民間奨学団体です。単に規模が大きいだけでなく、カウンセラーを始め各クラブのロータリアンと交流する事により、伝統、文化、慣習等を学び、ロータリーとして直接の見返りを求めず社会参加、社会貢献の意識を育てています。私はこれが大変意義深い事と思っています。

奨学生の選考は地区が指定する大学から指定した人数枠で推薦を受け、ガバナー、米山理事、委員長等が書類、面接審査より行います。

さて、本年 2570 地区の奨学生は先程の何君を見る様に、大変、頭脳も明晰、態度も立派な人ばかりです。9 月 10 日、毎年慣わしとなっている地区米山委員などとの一泊旅行で、奨学生との交流 2 回する機会がありました。しかし、本年米山委員としては皆様の貴重なご寄付の付託を受けて運営し、更にこうしてご寄付のお願いをする以上厳しく運営する必要があると言う事で、去る 9 月 28 日の委員会で幾つかの要望をお出し、委員長にお約束を頂きました。

- ① 選考に当たっては学業と共に生活態度も厳しくチェックする。
- ② クラブ、カウンセラーを通じ指導し、大切なお金を使わせて貰っているという意識を持たせ、甘える事なく学業に専念し、卒業後は受けた教育を活かし社会に還元させる事を委員会としても事ある毎に拙守する。
- ③ 不適格者は資金停止とする。

以上大変厳しいお願いをいたしました。

委員会として目標金額達成する活動をするからには、出口の使い方についても皆様に納得頂けるよう活動しようという事で、意見がまとまった訳でございます。

という事でございますので、是非ご寄付をお願いいたします。

貴クラブは2005年に1人13,179円を頂いておりますが、本年度目標は1人15,000円という事ですので、是非ご協力をお願いいたします。



広聴広報委員会 中島高夫・杉山淑子・岩本英人・笠原 勝・西村賢次

■例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 号
〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>

